

(別紙4(2))

事業所名 グループホームきらら浜松

作成日: 令和 5年 1月 17日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議において、ヒヤリハット・事故報告が出来る。	運営推進会議の場で、ヒヤリハット・事故報告について報告していく。	ヒヤリハットによる気づきと、事故防止に向けて実施した対策と有効性について報告し、情報の共有を図る。	3ヶ月
2	29	地域資源との協働について	コロナ過であっても地域資源の重要性を認識し、換気や体調の確認など、感染対策行いながらも、ボランティアさんや地域の方との交流を図る。	重度化が進み、職員だけでは外出も難しくなる中、外出の際に学生ボランティアさんを利用したり、楽器の演奏や傾聴ボランティアさんを積極的に受け入れていく。	12ヶ月
3	35	災害対策について、災害時の備蓄品に関して令和2年度に立てた目標が達成できていない。	備蓄品の量を把握して、災害時にグループホームの入居者様だけでなく、地域の避難場所として困らないよう備蓄品を整える。	年間の防災訓練で備蓄品の確認を行い、地域の防災訓練に参加したり、施設の炊き出し訓練に地域の方にも参加して頂くなどして、地域との関係性を深め、運営推進会議の場で地域、市と相談し必要な備蓄品を整えていく。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。